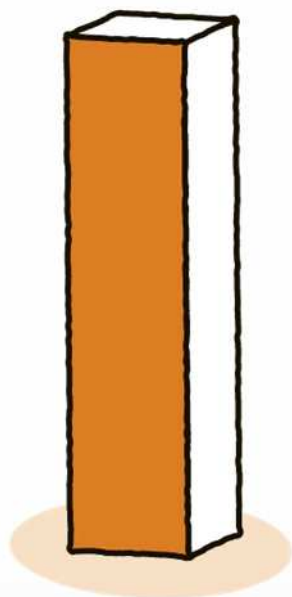


スポーツ・文化芸術・魅力



Inspire

創造と発見

25 スポーツ

28 魅力発信

26 文化芸術

27 観光

25.スポーツ

施策に関連する事業（手段）

①【スポーツ魅力創造課】
03競技力向上支援事業

①・②【スポーツ魅力創造課】
01市民スポーツ推進事業
02社会体育指導者養成事業
04スポーツの聖地づくり推進事業
05スポーツの聖地づくり環境整備推進事業

中間目的

最終目的

①スポーツに親しむ機会が広がり、市民の参加が進んでいます。

中間アウトカム指標（中間目標）

スポーツをする、みる、支える環境や機会が充実していると思う市民の割合

②スポーツ施設を幅広い世代が利用しています。

中間アウトカム指標（中間目標）

公共スポーツ施設の利用者数

スポーツをする、みる、支える環境や機会が充実しており、市民がスポーツを通して豊かに暮らしています。

成果指標（目標）

スポーツをする、みる、支えることを通して豊かに暮らしていると思う市民の割合

成果指標（目標）

運動やスポーツを週1回以上行っている市民の割合

25 スポーツ



中間アウトカム指標	指標名	単位	目標値の方向	現状値 令和7 (2025)年度	目標値					(担当部等) 担当課等	
					令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度		
①	主観指標	スポーツをする、みる、支える環境や機会が充実していると思う市民の割合	%	↑	38.4	40.7	42.9	45.2	47.4	49.7	(産業文化スポーツ部) スポーツ魅力創造課
②	客観指標	公共スポーツ施設の利用者数	人	↑	1,201,736	1,210,148	1,218,619	1,227,149	1,235,739	1,244,389	(産業文化スポーツ部) スポーツ魅力創造課

No.	事業名	事業概要	重点プロジェクト	事業指標										(担当部等) 担当課等
				①アウトプット指標	②直接アウトカム指標	単位	目標値の方向	現状値 令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度	
1	市民スポーツ推進事業	誰でも気軽に参加できる「スポーツなじみDAY」等を開催する。 また、スポーツ人口の拡大とトップアスリートの輩出を図るため、(公財)厚木市スポーツ協会が行うあつぎスポーツアカデミー事業に対し、補助金を交付する。	住みたままち	事業実施回数	回	→	84	94	94	94	94	94	(産業文化スポーツ部) スポーツ魅力創造課	
				事業参加者数	人	↑	13,186	15,000	16,000	17,000	18,000	19,000		
2	社会体育指導者養成事業	地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・推進のため、地域のリーダーとしてふさわしいスポーツ推進委員の養成のための研修会等を行う。		研修会等開催回数	回	→	35	44	44	44	44	44	(産業文化スポーツ部) スポーツ魅力創造課	
				研修会等参加者数	人	↑	754	1,150	1,160	1,170	1,180	1,190		
3	競技力向上支援事業	国際大会や全国大会等への参加する市民に対し、奨励金を交付する。 また、競技団体が全国・県大会等に選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会等に対し、交付金を交付する。		競技団体選手強化事業交付金及び全国大会等出場奨励事業交付金	件	→	156	230	230	230	230	(産業文化スポーツ部) スポーツ魅力創造課		
				全国大会等出場数	人	→	426	660	660	660	660		660	
4	スポーツの聖地づくり推進事業	スポーツの聖地厚木に向けて、市内で実施される合宿やスポーツ大会の参加者の宿泊費に対し、補助金を交付する。 また、市内にスポーツの全国大会やスポーツイベント、トップリーグを招致した団体に対し、補助金を交付する。	住みたままち	各補助金の交付件数	件	↑	156	50	60	65	65	65	(産業文化スポーツ部) スポーツ魅力創造課	
				合宿、スポーツ大会、イベントの参加者数及びトップリーグの観戦者数	人	↑	—	2,600	2,600	4,600	4,800	5,000		
5	スポーツの聖地づくり環境整備推進事業	市民のシビックプライドが醸成されるほか、多くの人が「聖地」として憧れを抱き、愛されるまちの姿を実現に向け、「スポーツの聖地づくり基本構想」及び「スポーツの聖地づくり基本計画」に基づき、既存スポーツ施設の最適化及び新規スポーツ施設の整備などを実施する。	住みたままち	スポーツの聖地づくり基本計画に位置付ける各事業の進捗率	%	↑	—	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	(産業文化スポーツ部) スポーツ魅力創造課	
				競技型スポーツ施設の利用者数	人	↑	841,600	845,000	848,500	852,000	855,500	859,000		

26.文化芸術

施策に関連する事業（手段）

①・②【文化魅力創造課】
04あつぎ郷土博物館活動推進事業
05市史編さん事業
06郷土芸能事業

①・③【文化魅力創造課】
01あつぎ市民芸術文化祭開催事業
02文化芸術振興事業

①・②・③【文化魅力創造課】
03文化芸術振興計画策定事業

中間目的

最終目的

①伝統文化や文化財に親しみ、次世代へ継承する取組が進んでいます。

中間アウトカム指標（中間目標）

伝統文化・郷土芸能や文化財に触れる機会があり、後世に伝えるための取組が進んでいると思う市民の割合

②郷土文化への関心が市民の間に広がっています。

中間アウトカム指標（中間目標）

厚木の郷土文化に興味がある市民の割合

③市民の学びが交流の場として文化施設を活用しています。

中間アウトカム指標（中間目標）

文化施設の利用者数

文化芸術活動に参加、鑑賞する環境や機会が充実しており、伝統文化・郷土芸能、文化財等が尊重及び次の世代に保存・継承され、文化芸術を通して市民が豊かに暮らしています。

成果指標（目標）

伝統文化・郷土芸能、文化財等が尊重され、保存・継承されていると思う市民の割合

成果指標（目標）

市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合

26 文化芸術



中間アウトカム指標	指標名	単位	目標値の方向	現状値 令和7 (2025)年度	目標値					(担当部等) 担当課等	
					令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度		
①	主観指標	伝統文化・郷土芸能や文化財に触れる機会があり、後世に伝えるための取組が進んでいると思う市民の割合	%	↑	33.1	36.1	39.1	42.1	45.1	48.1	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課
②	客観指標	厚木の郷土文化に興味がある市民の割合	%	↑	51.1	52.1	53.1	54.1	55.1	56.1	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課
③	客観指標	文化施設の利用者数	人	↑	248,482	248,850	249,000	249,150	249,300	249,450	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課

No.	事業名	事業概要	重点プロジェクト	事業指標										(担当部等) 担当課等
				①アウトプット指標 ②連携アウトカム指標	単位	目標値の方向	現状値 令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度		
1	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	市民文化祭（芸能音楽発表、文化作品展等）、市民芸術祭（市民参加型の舞台公演等）、野外彫刻造形展（彫刻や造形作品の野外展示、体験教室等）、ミュージックフェスティバル（青少年を対象としたオーディション）を開催する。	住みたいまち	文化芸術事業の出演者及び出演者数	人	↑	2,097	3,080	3,130	3,180	3,230	3,280	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課	
				文化芸術事業の来場者数	人	↑	10,378	10,200	10,300	10,400	10,500	10,600		
2	文化芸術振興事業	文化芸術の発信強化を図り、文化芸術活動を推進するため、商業施設や公共施設など、発表の場として様々な場所の開拓を進める。 また、より多くの方に文化芸術に触れていたくなる機会を増やすとともに、事業のPRの仕方を工夫・強化することで発表者の満足度を向上させる。 さらに、文化芸術の全国大会及び国際大会に出場する市民等に対し、奨励金を交付し意識高揚を図り、文化芸術活動の充実と振興のための環境を整備する。	住みたいまち	文化芸術発信事業数	事業	→	10	12	12	12	12	12	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課	
				文化芸術発信事業の事業満足度	%	↑	96.0	96.5	97.0	97.5	98.0	98.5		
3	文化芸術振興計画策定事業	文化芸術の振興に関する基本的な事項を定めた第2次厚木市文化芸術振興計画第2期基本計画及び実施計画を策定する。		文化芸術振興計画の策定	—	—	調査	策定	—	—	—	—	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課	
				設定なし										
4	あつぎ郷土博物館活動推進事業	歴史、民俗、生物分野に関する研究や調査の結果について、資料として後世に残すとともに、各種講座や展示を通して市民に公開し、還元する。	住みたいまち	あつぎ郷土博物館の来館者数	人	↑	34,000	34,000	34,050	34,100	34,150	34,200	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課	
				あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度	%	↑	91.0	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0		
5	市史編さん事業	古文書等歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行い、資料の目録作成、電子化を実施し、その成果に基づき、本市の歴史の変遷を後世に継承する。	住みたいまち	『厚木市史』発刊数	冊	—	—	1	—	1	—	1	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課	
				『厚木市史』の発刊した割合	%	↑	78.9	84.2	84.2	89.4	89.4	94.7		
6	郷土芸能事業	市内に伝わるかけがえのない伝統文化や伝統芸能を保存・伝承するため、郷土芸能まつりや郷土芸能普及公演等を実施する。		郷土芸能の公演及び体験講座の実施回数	回	↑	57	62	64	66	68	70	(産業文化スポーツ部) 文化魅力創造課	
				郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数	人	↑	4,610	5,400	5,450	5,500	5,550	5,600		

27.観光

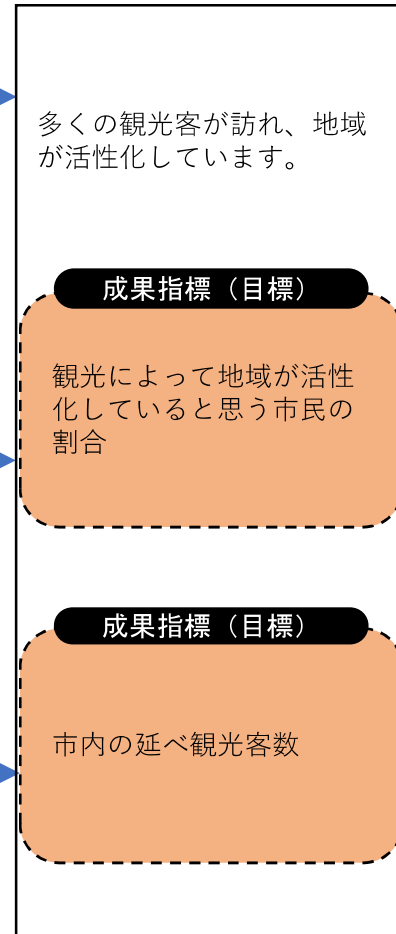
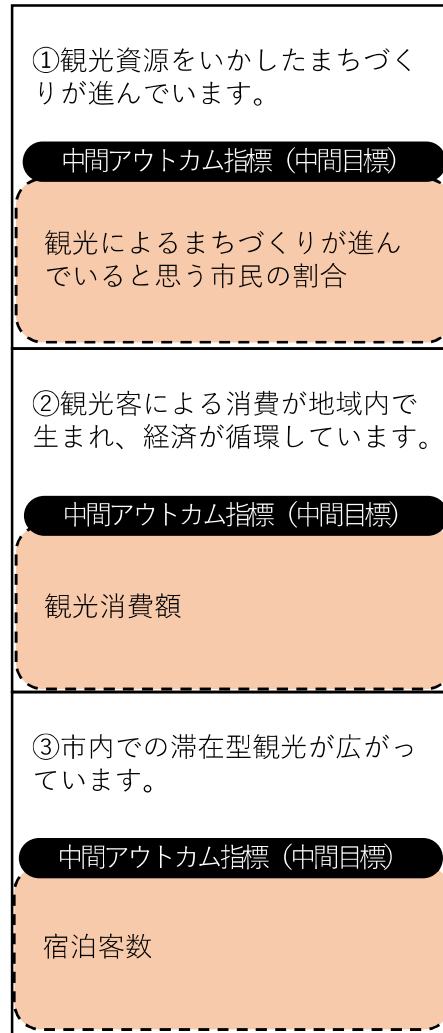
施策に関連する事業（手段）

①・②【商業観光課】
04飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業

①・②・③【商業観光課】
01観光行事推進事業
02観光プロモーション事業
03観光地受入環境整備事業
05観光資源活性化事業
06観光振興計画策定事業

中間目的

最終目的



27 観光



	中間アウトカム指標	指標名	単位	目標値の方向	現状値 令和7 (2025)年度	目標値					(担当部等) 担当課等
						令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度	
①	主観指標	観光によるまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	↑	27.1	31.3	35.5	39.7	43.9	48.1	(産業文化スポーツ部) 商業観光課
②	客観指標	観光消費額	億円	↑	250.0	252.5	255.0	257.5	260.0	262.5	(産業文化スポーツ部) 商業観光課
③	客観指標	宿泊客数	人	↑	500,000	505,000	510,000	515,000	520,000	525,000	(産業文化スポーツ部) 商業観光課

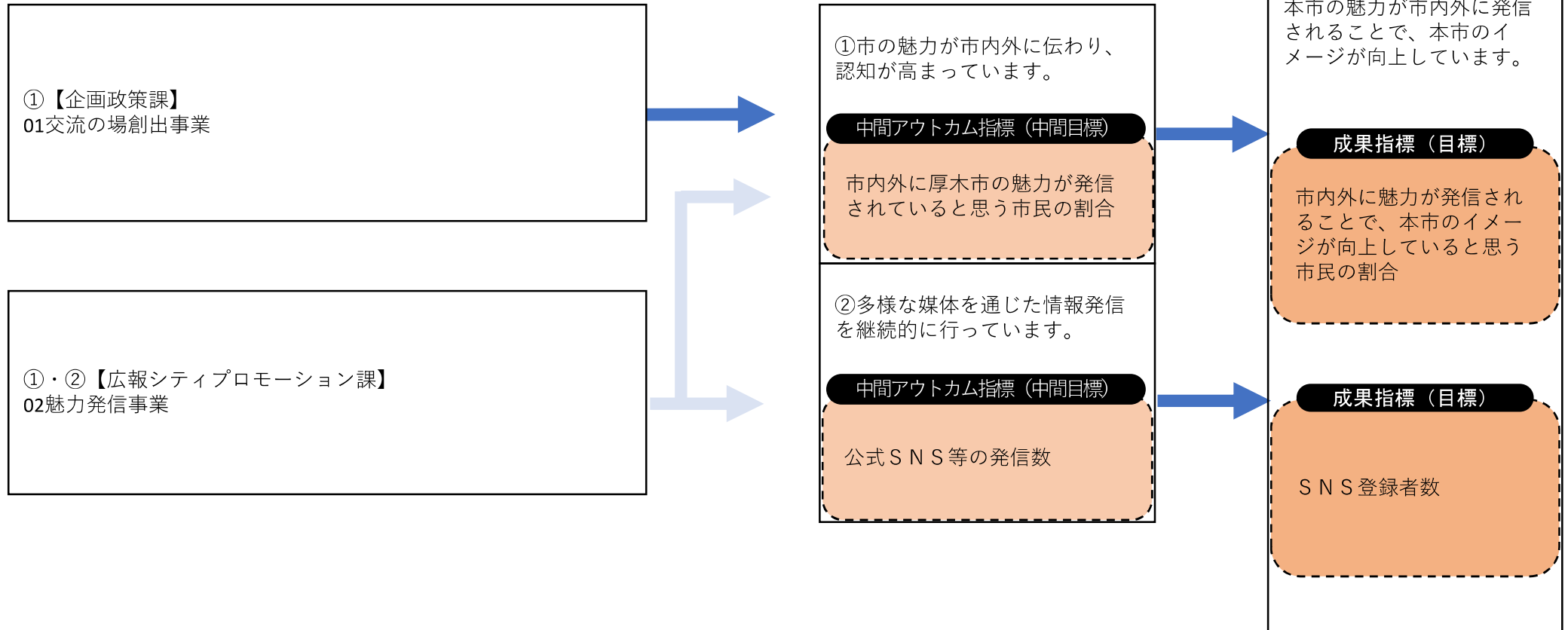
No.	事業名	事業概要	重点プロジェクト	事業指標							(担当部等) 担当課等		
				①アウトプット指標 ②直接アウトカム指標	単位	目標値の方向	現状値 令和7 (2025)年度	目標値					
								令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度		令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度
1	観光行事推進事業	あつぎ鮎まつりやあつぎ飯山桜まつり等、魅力ある観光イベントを開催するほか、活力ある地域づくりを担う地域観光まつり事業に対して補助金を交付する。		観光行事の実施件数	件	→	6	7	7	7	7	7	(産業文化スポーツ部) 商業観光課
				あつぎ鮎まつり・あつぎ飯山桜まつりの参加者数	人	↑	345,000	350,000	350,500	351,000	351,500	352,000	
2	観光プロモーション事業	パンフレットの作成や各種メディア、SNSを活用した情報発信を展開するほか、本市の魅力ある食を認定したあつぎ食ブランドを積極的に活用したプロモーション活動やマスコットキャラクター事業を実施する。	住みたいまち	観光プロモーション実施件数	件	↑	11	12	13	14	15	16	(産業文化スポーツ部) 商業観光課
				観光プロモーション事業への参加者数	人	↑	500,043	651,600	682,680	715,314	749,579	785,557	
3	観光地受入環境整備事業	本市を訪れた観光客の満足度の向上や観光客拡大を図るため、受入環境整備に係る費用の一部を補助するほか、観光客の増加につなげるため環境づくりを行う。		厚木市訪日外国人おもてなし事業補助金交付件数	件	→	2	4	4	4	4	4	(産業文化スポーツ部) 商業観光課
				外国人観光客が増加した補助金交付店舗の割合	%	→	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
4	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	観光拠点である飯山白山森林公園にある桜の広場及びその周辺環境について、飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想に基づく整備を行う。		飯山白山森林公園桜の広場周辺の整備箇所数	か所	→	3	—	4	4	4	4	(産業文化スポーツ部) 商業観光課
				飯山白山森林公園桜の広場観光客数(年間)	人	↑	400,000	412,000	416,000	420,000	424,000	428,000	
5	観光資源活性化事業	本市の豊かな自然環境を有効に活用した体験学習やアクティビティなど、新たな観光コンテンツを創出する。	住みたいまち	観光地の魅力づくり事業数	事業	→	2	1	1	1	1	1	(産業文化スポーツ部) 商業観光課
				イベント参加者数	人	↑	791	400	450	500	550	600	
6	観光振興計画策定事業	時勢に即した観光戦略を展開するため、第3次厚木市観光振興計画を策定する。		第3次厚木市観光振興計画の策定	—	—	—	策定	—	—	—	—	(産業文化スポーツ部) 商業観光課
				設定なし									

28.魅力発信

施策に関連する事業（手段）

中間目的

最終目的



28 魅力発信



	中間アウトカム指標	指標名	単位	目標値の方向	現状値 令和7 (2025)年度	目標値					(担当部等) 担当課等
						令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度	
①	主観指標	市内外に厚木市の魅力が発信されていると思う市民の割合	%	↑	28.6	32.9	37.3	41.6	46.0	50.3	(企画部) 広報シティプロモーション課
②	客観指標	公式SNS等の発信数	件	↑	663	700	738	778	820	865	(企画部) 広報シティプロモーション課

No.	事業名	事業概要	重点プロジェクト	事業指標							(担当部等) 担当課等		
				①アウトプット指標		現状値 令和7 (2025)年度	目標値						
				単位	目標値の方向		令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度		令和12 (2030)年度	
1	交流の場創出事業	若い世代で構成する組織において、新たな交流の場を創出するための事業を検討・実施する。		事業実施回数	回	—	3	5	3	3	3	3	(企画部) 企画政策課
				事業参加者の満足度	%	→	97.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
2	魅力発信事業	本市の特長、魅力、施策等を市内外に広く周知するため、動画を始めたPRコンテンツや広報番組の制作、広告事業、シティプロモーション事業を展開し、さまざまな媒体を活用しながら、効果的に情報発信する。	住みたままち	YouTube 発信件数	件	↑	65	74	78	82	86	90	(企画部) 広報シティプロモーション課
				YouTube 視聴件数	件	↑	174,137	280,000	290,000	300,000	310,000	320,000	